

療研究会講演, 2000, 12, 岡山.

- 10) 田中三千雄: 2000年頭所感 内視鏡像変貌の意味を問う. 消化器内視鏡, 12: 6-7, 2000.
- 11) 田中三千雄: 編集後記. 消化器内視鏡, 12: 132, 2000.
- 12) 松田美千代, 松井祥子, 松村理恵子, 澤田愛子, 小林 正: 富山市医療圏の病院・診療所・福祉関連施設における在宅酸素療法の現状. 富山市医師会報, 356: 10-16, 2000.

臨 床 看 護 学 成人看護学 (外科系研究室)

教 授	田 澤 賢 次
講 師	梶 原 睦 子
助 手	安 田 智 美
助 手	佐々木 祐 子

◆ 著 書

- 1) 田澤賢次, 安田智美, 梶原睦子: ストーマ・スキンケア—スキンケアの理論的背景—. 「実践ストーマ・ケア」穴沢貞夫編集: 51-62, へるす出版, 大阪, 2000.
- 2) Tazawa K., Yasuda T.: Pharmacological actions of skin barriers. Skin Barriers for Stoma Care—from basic therapy to clinical application. Supervised by Tazawa K. and edited by Anazawa S., Ohmura Y. and Yoshikawa R.: 56-68, 2000.
- 3) Tazawa K., Yamamoto K.: Skin barriers from the aspect of skin care. Skin Barriers for Stoma Care—from basic therapy to clinical application. Supervised by Tazawa K. and edited by Anazawa S., Ohmura Y. and Yoshikawa R.: 7-16, 2000.
- 4) Tazawa K. Numata S.: Future of skin barriers and their ideal features. Skin Barriers for Stoma Care—from basic therapy to clinical application. Supervised by Tazawa K. and edited by Anazawa S., Ohmura Y. and Yoshikawa R.: 177-185, 2000.
- 5) 田澤賢次: 痔疾患. 臨床薬物治療学-疾病の解説と薬の使い方. 医療薬学研究協議会編, 477-483, アークメディア, 東京, 2000.

◆ 原 著

- 1) 田澤賢次, 安田智美, 小林祐子, 八塚美樹, 伊藤佳代子, 小池 潤, 水上由紀, 青木詩恵, 稲垣邦代, 梶原睦子: 創傷治療における亜鉛の役割. Expert Nurse, 16(3): 56-59, 2000.
- 2) 田澤賢次, 並川宏英, 伊藤佳代子, 小池 潤, 八塚美樹, 揚 孟雨, 大上英夫, 斎藤智裕: リンゴ繊維アップルペクチンの効果・効能. BIO INDUSTRY, 17(5): 5-12, 2000.
- 3) 田澤賢次, 並川宏英, 老田尚子, 伊藤佳代子, 八塚美樹, 小池 潤, 政田正弘, 前田浩明: NK細胞活性作用を有するMGN-3 (バイオブラン)の活性酸素消去能の検討. Biotherapy, 14(5):

- 2000.
- 4) 小池 潤, 田澤賢次, 八塚美樹, 伊藤佳代子, 大西康晴, 大上英夫, 斎藤智裕, 済木育夫: 和漢薬成分における活性酸素抑制からみる肝転移との関連. *Biotherapy*, 14(5): 587-590, 2000.
 - 5) 田澤賢次: 超暗視野顕微鏡によるライブブラット (live blood) 検査による赤血球動態とマイナスイオン-マイナスイオン (e^-) 印加水道水飲用による赤血球連鎖の改善について. *全国マイナスイオン医学会誌*, 4(1): 3-11, 2000.
 - 6) 田澤賢次: 今なぜ弱酸性ケアが必要か-予防医学の立場からベル・ジュバンスの弱酸性pH(ペーハー) 4.5に注目しています. *美髪通信ベル・ジュバンス*, 92: 4-5, 2000.
 - 7) 山本克弥, 田澤賢次, 山崎一磨, 竹森 繁, 新井英樹: 直腸肛門周囲膿瘍の治療. *臨床外科*, 55(8): 991-995, 2000.
 - 8) 小池 潤, 田澤賢次, 並川宏英, 伊藤佳代子, 八塚美樹, 安田智美, 小林祐子, 梶原睦子, 大上英夫, 斎藤智裕: 肝転移を抑制する漢方方剤における活性酸素消去能からみた特徴. *富山医科薬科大学看護学会誌*, 3: 153-160, 2000.
 - 9) 伊藤佳代子, 田澤賢次, 八塚美樹, 並川宏英, 大上英夫, 小池 潤, 安田智美, 小林祐子, 梶原睦子, 斎藤智裕, 風晴浩一: アップルペクチン由来のオリゴ糖における加熱処理と活性酸素抑制の増強. *富山医科薬科大学医学会誌*, 13(1): 39-47, 2000.
 - 10) 八塚美樹, 田澤賢次, 伊藤佳代子, 並川宏英, 小池 潤, 安田智美, 小林祐子, 梶原睦子, 加須屋寛, 斎藤智裕: タバコ煙暴露溶液の紫外線照射によるヒドロキシラジカルの同定及び抗酸化食品における活性酸素抑制能. *富山医科薬科大学医学会誌*, 13(1): 48-56, 2000.
 - 11) 梶原睦子, 安田智美, 小林祐子, 田澤賢次: 人工肛門保有者における精神的な健康さ. *STOMA*, 9: 7-12, 2000.
 - 12) 安田智美, 水上由紀, 山本克弥, 八塚美樹, 小林祐子, 梶原睦子, 田澤賢次: 構成成分 (カラヤ, CMC, SIS) からみた皮膚保護剤の特性-特に, 吸水時間・緩衝作用・貼付試験による形状変化と剥離力からの検討-. *日本ストーマリハビリテーション学会誌*, 16(1): 13-20, 2000.
 - 13) 水上由紀, 安田智美, 中村裕美, 高塚静恵, 吉井かおり, 青木詩恵, 稲垣邦代, 八塚美樹, 伊藤佳代子, 小池 潤, 小林祐子, 梶原睦子, 田澤賢次: 親水性ポリマーと疎水性ポリマー比率からみた皮膚保護剤の研究(1)-特にSIS含有変化率からみた緩衝作用の検討-. *日本ストーマリハビリテーション学会誌*, 16(2): 1-11, 2000.
 - 14) 水上由紀, 安田智美, 中村裕美, 高塚静恵, 吉井かおり, 青木詩恵, 稲垣邦代, 八塚美樹, 伊藤佳代子, 小池 潤, 小林祐子, 梶原睦子, 田澤賢次: 親水性ポリマーと疎水性ポリマー比率からみた皮膚保護剤の研究(2)-特にSIS含有変化率からみた吸湿性, 耐水性, 剥離力及びpHの検討-. *日本ストーマリハビリテーション学会誌*, 16(2): 13-24, 2000.
 - 15) Minamimura T., Sato H., Kasaoka S., Saito T., Ishizawa S., Takemori S., Tazawa K., Tsukada K.: Tumor regression by inductive hyperthermia combined with hepatic embolization using dextran magnetite-incorporated microspheres in rats. *International Journal of Oncology*, 16(6): 1153-1158, 2000.
 - 16) Yokoyama Y., Saito M., Saito T., Yuguchi T., Sawataishi M., Sakamoto T., Tazawa K., Tsukada K.: Synergistic antiproliferative effect of Δ^{12} -prostaglandin J_2 and hyperthermia on human esophageal cancer cell lines. *HUMAN CELL*, 13(1): 23-33, 2000.
 - 17) Okamoto M., Tazawa K., Kawagoshi T., Maeda M., Honda T., Sakamoto T., Tsukada K.: The combined effect against colon-26 cells of heat treatment and immunization with heat treated colon-26 tumor cell extract. *International Journal of Hyperthermia*. 16(3): 263-273, 2000.
 - 18) 田澤賢次, 大上英夫, 並川宏英, 伊藤佳代子, 半明敬子, 斎藤智裕, 八塚美樹: アップルペクチンのがん抑制作用と活性酸素抑制作用. *FOOD Style* 21, 4(8): 61-66, 2000.
- ◆ 総 説
- 1) 田澤賢次: 大腸がんの肝転移も抑制するアップルペクチンの抗腫瘍効果. *がん (MEDICAL PRESS for CANCER)*, 2(3): 88-91, 2000.
 - 2) 田澤賢次: りんごの食物繊維の働きと大腸発癌予防. *りんご技術*, 63, 33-36: 2000.
 - 3) 田澤賢次, 安田智美, 小林祐子, 梶原睦子, 斎藤智裕, 竹森 繁: 生命誕生と創傷治療. *Biomedical Perspectives*, 9(3): 197-207, 2000.
 - 4) 田澤賢次: りんごの皮付きと皮なしの抗酸化作用の違いについて. *りんご技術*, 64: 41-42, 2000.
 - 5) 田澤賢次: リンゴ繊維アップルペクチンの効果・

効能. 信州の果実, 529: 44-47, 2000.

- 6) 安田智美, 小林祐子, 梶原睦子, 田澤賢次: ストーマ手術創の術直後ケア. 臨床看護, 26(11): 1631-1638, 2000.
- 7) 田澤賢次: がん予防に役立つ食品情報—全米科学アカデミー特別委員会レポート「がん予防と食生活」の意味する物. がん (MEDICAL PRESS for CANCER), 2(3): 82, 2000.
- 8) 田澤賢次: がん予防に役立つ食品情報—食物繊維の腸管内での作用と発がん予防 (その1). がん (MEDICAL PRESS for CANCER), 2(4): 82, 2000.
- 9) 田澤賢次: がん予防に役立つ食品情報—食物繊維の腸管内での作用と発がん予防 (その2). がん (MEDICAL PRESS for CANCER), 2(5): 82, 2000.
- 10) 田澤賢次: がん予防に役立つ食品情報—アップルペクチンの静菌効果と発がん制御作用の関連. がん (MEDICAL PRESS for CANCER), 2(6): 82, 2000.

◆ 学会発表

- 1) 安田智美, 水上由紀, 田澤賢次: 作用機序よりみる皮膚保護剤の現状と今後の課題. 第17回日本ストーマリハビリテーション学会 (シンポジウム), 2000, 2, 新潟.
- 2) 水上由紀, 高塚静恵, 吉井かおり, 安田智美, 青木詩恵, 稲垣邦代, 小林祐子, 梶原睦子, 中村裕美: 皮膚保護剤の物性と機能の研究—特にSIS配合割合と緩衝作用の関係について—. 第17回日本ストーマリハビリテーション学会, 2000, 2, 新潟.
- 3) 稲垣邦代, 水上由紀, 安田智美, 青木詩恵, 梶原睦子, 馬竹美穂, 落合 宏, 田澤賢次, 沼田悟: 皮膚保護剤の物性と機能の研究—特にSIS配合成分と静菌作用の関係について—. 第17回日本ストーマリハビリテーション学会, 2000, 2, 新潟.
- 4) 大谷典子, 安田智美, 山下優子, 根本秀美, 竹森 繁, 新井英樹, 寺垣秀山, 梶原睦子, 田澤賢次: 化学療法によるストーマへの影響と予防的ケア—ストーマ粘膜皮膚接合部の離解を繰り返した一例—. 第17回日本ストーマリハビリテーション学会, 2000, 2, 新潟.
- 5) 梶原睦子, 安田智美, 小林祐子, 青木詩恵, 田澤賢次: ストーマ保有者における「におい」の認知. 第17回日本ストーマリハビリテーション学会, 2000, 2, 新潟.
- 6) 和田重人, 古田 勲, 田澤賢次, 竹森 繁, 南村哲司: 誘導磁場を利用した口腔癌温熱療法の基礎研究. 第13回富山癌治療懇談会, 2000, 5, 富山.
- 7) 田澤賢次: 皮膚と創傷治癒における弱酸性の意義. 第13回日本弱酸性美容協会シンポジウム, 2000, 7, 東京都.
- 8) Tazawa K.: A continent neostoma operation with the subcutaneous part of external anal sphincter. The 1st AFSR (Asian Forum of Stoma Rehabilitation), 2000, 7, Singapore.
- 9) Tazawa K.: Nurse/Doctor Collaboration provides optimal care for the ostomate-mucocutaneous junction. The 13th WCET (The World Council of Enterostomal Therapist), 2000, 7, Singapore.
- 10) Tazawa K., Arai H., Takemori S.: A continent neostoma operation with the subcutaneous part of external anal sphincter. The 18th ISUCRS (The International Society of University Colon & Rectal Surgeons), 2000, 7, Sao Paulo, Brazil.
- 11) 松田美千代, 田中いずみ, 長谷川ともみ, 前畑夏子, 安田智美, 大野昌美, 伊藤廣美, 山内 学, 松浦和代, 上野栄一, 望月吉勝: 看護学生の健康度と対人関係との関係. 第26回日本看護研究学会, 2000, 7, 幕張.
- 12) 田中いずみ, 松田美千代, 長谷川ともみ, 前畑夏子, 安田智美, 大野昌美, 山内 学, 上野栄一, 松浦和代, 望月吉勝, 伊藤廣美: 看護学生の自我状態と対人関係との関係. 第26回日本看護研究学会, 2000, 7, 幕張.
- 13) 田澤賢次, 五十嵐功一, 南村哲司, 和田重人, 長江英夫: デキストランマグネタイトを用いた誘導電磁波による簡易型誘導加温装置の開発. 第17回日本ハイパーサーミア学会総会, 2000, 9, 新潟.
- 14) 安田智美, 水上由紀, 青木詩恵, 稲垣邦代, 小林祐子, 梶原睦子, 田澤賢次, 中村裕美: 主原料と消化液から見た皮膚保護剤の緩衝作用. 第16回北陸ストーマ研究会. 2000, 9, 金沢.
- 15) 梶原睦子, 安田智美, 小林祐子, 青木詩恵, 田澤賢次: オストメイトが感じている「におい」. 第16回北陸ストーマ研究会. 2000, 9, 金沢.
- 16) 田澤賢次: LSAにおけるマイナスイオンの効果. 平成12年度全国マイナスイオン医学会, 2000, 10, 熱海市.
- 17) 安田智美, 小林祐子, 梶原睦子, 田澤賢次, 落合 宏: 静菌作用からみた皮膚保護剤の選択と使用方法について. 第1回富山医科薬科大学看護学

- 会. 2000, 10, 富山.
- 18) 梶原睦子, 安田智美, 小林祐子, 青木詩恵, 田澤賢次: オストメイトが感じている「におい」. 第1回富山医科薬科大学看護学会. 2000, 10, 富山.
 - 19) 田澤賢次, 伊藤佳代子, 並川宏英, 老田尚子, 八塚美樹, 半明敬子, 大上英夫, 竹森 繁, 斎藤智裕: アップルペクチンの大腸癌発生抑制-エステル化度と活性酸素抑制からの検討. 日本癌学会総会. 2000, 10, 横浜.
 - 20) 大上英夫, 田澤賢次, 並川宏英, 老田尚子, 八塚美樹, 安田智美, 小林祐子, 梶原睦子, 斎藤智裕, 塚田一博, 渡辺雅孝: 舞茸乾燥粉末及び抽出成分によるラット大腸発癌抑制と活性酸素消去能. 日本癌学会総会. 2000, 10, 横浜.
 - 21) 斎藤智裕, 田澤賢次, 並川宏英, 老田尚子, 小池 潤, 八塚美樹, 大上英夫, 塚田一博, 政田正弘, 前田浩明: NK細胞活性作用を有するMGN-3 (バイオブラン) の活性酸素消去能. 日本癌学会総会. 2000, 10, 横浜.
 - 22) 今西信子, 三善郁代, 大平安夫, 渡辺雅孝, 武山雅英, 鴻巣聡子, 田澤賢次, 落合 宏: マイタケ子実体MD分画の一酸化窒素産生誘発と抗腫瘍活性に関する研究. 第3回日本補完・代替医療学会学術集会, 2000, 11, 東京.
 - 23) 田澤賢次, 並川宏英, 大上英夫, 斎藤智裕, 田澤賢一, 竹森 繁, 安田智美, 小林祐子, 梶原睦子: Inhibitory effects of *Glifola Frondosa* (Maitake) in colon carcinogenesis and scavenging activity on superoxide anion radical and hydroxyl radical. 第13回日本バイオセラピー学会学術集会総会, 2000, 12, 京都.
 - 24) 和田重人, 田澤賢次, 古田 勲, 竹森 繁, 南村哲司, 長江英夫: 口腔癌を標的とした新しい誘導加熱法に関する基礎的研究. 第1回北陸温熱療法懇談会, 2000, 8, 金沢.
 - 25) 田澤賢次, 五十嵐功一, 南村哲司, 和田重人, 長江英夫: デキストランマグネタイトを用いる誘導電磁波による簡易型誘導加熱装置の開発に向けて, 第1回北陸温熱療法懇談会, 2000, 8, 金沢.
 - 26) 岡本政広, 田澤賢次, 川腰利之, 前田正敏, 本田 昂, 塚田一博: 温熱療法と熱ショック蛋白とを用いた併用療法の試み. 第1回北陸温熱療法懇談会, 2000, 8, 金沢.
 - 27) Tazawa K, Takemori S, Minamimura T, Saito T, Wada S, Nagae H.: Inductive heating with use of Dextran Magnetite (DM) particle. Internatinal Congress of Hyperthermic Oncology, 2000, 4, 慶州, 韓国.
- ◆ その他
- 1) 田澤賢次: ストーマスキンケアにおける皮膚保護剤の過去・現在・未来. 第15回埼玉ストーマリハビリテーション勉強会, 2000, 5, 埼玉.
 - 2) 田澤賢次: 皮膚と創傷治癒における弱酸性の意義. 第13回日本弱酸性美容協会シンポジウム, 2000, 7, 東京.
 - 3) 田澤賢次: スキンケア. WOC看護認定看護師教育専門課程講師, 2000, 7, 東京.
 - 4) 田澤賢次: 食生活とがん. 平成12年度富山市健康教育 (奥田北地区), 2000, 8, 富山市奥田北地区.
 - 5) 田澤賢次: アップルペクチンによる癌予防とその機能. 平成12年度りんご女性フォーラム-知事とりんごトーク (リンゴ経営パートナー養成事業), 2000, 8, 青森県平賀町.
 - 6) 田澤賢次: 食生活とがん. 平成12年度富山市健康教育 (東部地区), 2000, 9, 富山市東部地区.
 - 7) 田澤賢次: アップルペクチンによる癌予防-特に活性酸素抑制作用とその機能. 平成12年度青森県木村甚弥賞受賞記念講演会, 2000, 9, 弘前市.
 - 8) 田澤賢次: 食生活とがん. 平成12年度富山市健康教育 (老田地区), 2000, 11, 富山市老田地区.
 - 9) 田澤賢次: 食生活からみた疾病予防. 平成12年度富山市健康教育 (豊田地区), 2000, 11, 富山市豊田地区.
 - 10) 田澤賢次: がん予防における食品成分の果たす役割を考える. 平成12年度富山県医師会がん学術セミナー, 2000, 10, 富山市.
 - 11) 田澤賢次, 進藤勝久: ストーマ造設およびケアの最前線 (座長・司会). 第62回日本臨床外科学会総会, 2000, 11, 名古屋.
 - 12) 田澤賢次: りんごと健康. 平成12年度青森県鯉ヶ沢町文化功労賞受賞記念講演会. 2000, 11, 青森県鯉ヶ沢町.